

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	KID ACADEMY SPORTS 灘校	
		公表日 2026年2月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	活動人数によっては手狭に感じられる場面もあるため、より快適に過ごせる環境づくりを目指し、整理整頓などを進め、スペースの有効活用に努めています。	今後もスペース等を工夫しながら支援を行っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5		下校時間が重なる時間帯には職員配置に偏りが生じることがあるため、今後も、送迎体制および人員配置の見直しを行い、安定した支援が提供できるよう取り組んでまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	階段等で転倒の恐れのある児童に対してはスタッフが必ず付くようして事故防止に努めている。	段差や階段がある環境のため、移動時には安全面への配慮が必要です。職員による見守りや環境整備を行い、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	危ないものは目につかないところに置き、清掃に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	体調不良や不安定になった子供が過ごせるよう、パーテーションで区切った簡易個室が作れるようになっている。レイアウトを工夫し、不用品を撤去し、クールダウンスペース又は静養スペースを確保できている。	今後も、状況に応じてパーテーションを使用するなどして工夫をしながら支援を行っていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2	適宜話し合いをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	保護者からの評価をもとにミーティングを設けて改善案を話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者からの評価をもとにミーティングを設けて改善案を話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		現在は、行っていませんが今後は必要に応じて検討をしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	シフト調整を行い出席の機会を作っている。	今後も、諸都院の資質の向上のために積極的に研修に参加していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	モニタリング、アセスメントを行い、支援内容についてはマンスリーレポートでもお知らせをしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	更新に合わせて保護者様からの声を聞き取り校内でアセスメントを行なっている。スタッフで話し合う時間を取り、計画を作成できている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	出勤者全員でアセスメント、支援者会議を行なっている。スタッフ全員で行い、休みのスタッフにも共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	2	原案を回覧し周知してもらっている。	アセスメントに基づいた支援を行っておりますが、支援内容の精度向上が今後の課題と感じております。定期的な見直しを行い、質の向上に努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	運動面だけでなく、座りかたなども含めてアセスメントを行なっている。校内で作成したアセスメントの指標があり使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	その日に来所する児童の特性やその日の状態でプログラムを変更している。	少し固定化してしまっている部分もあると感じているため、今後はなるべく固定化しないような工夫を行っていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個人で取り組む内容と集団でしかできないプログラムとを組み合わせ、活動をこなしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	朝礼や昼休みに情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	その日中が難しい場合は、翌朝の朝礼で振り返りと話し合いを行なっている。	今後も、回覧を使用するなどして全職員での共有が徹底できるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	イベントや自由時間、トレーニングの場において、ディスカッションを行い児童主体の活動や自己決定の場を提供している。	
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児発管だけでなく、当該児童と関わりが深い職員が同席するようにしている。
27		地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4		現在は、小学校以外で支援の連携はあまり出ていないので、必要に応じて行っていきます。
28		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	0	特に個別で支援が必要な児童の担任の先生とは、学校での様子や事業所での様子など、できるだけ毎回話すようにしている。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	同じ法人の児発とは情報交換し連携を取ることができている。	
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7	小学生が殆どの為、そのような事例がまだ過去にありません。	現在は、該当するお子さまがいらっしゃらないですが今後は該当の方がいた場合に学校との連携を十分に行ってまいります。
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7		現在は、地域の児童発達支援センターとの連携ができていないため、今後は必要に応じて検討してまいります。
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		現在は、交流の機会がないため、今後はニーズに応じて検討してまいります。
33		(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7		今後は、業務調整などしながら積極的に参加できるように努めてまいります。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	保護者に最近の様子をお聞きしたり、その日の出来事やいつもと変わった様子があれば必ず伝えるようにしている。	
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	茶話会や保護者見学可能なイベントを開催している。	家族で参加いただけるイベントなどを実施する場合もあるので、今後も定期的に行っていくようにしていきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	いつでも連絡可能なことをお伝えしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	4		今後は、定期的に茶話会などの実施をしていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	マンスリーレポートを配布し、情報などを発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	書庫に鍵を締め、社用パソコン携帯の持ち出しは行わないとのルールのもと運営を行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		地域との交流はあまりないため、今後は開催などを検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	てんかんがある児童に関しては、てんかん時の動画を保護者に送ってもらったり、その時の対応方法など細かく教えてもらうようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		今後も、契約時に聞き取りをし把握を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1		ヒヤリハットが発生した際には、MTGなどで話し合うことができているので今後も、早急に話し合いができるような体制を作っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0			